

IMserverPノードに存在しないDRFコンポーネントの&を行う

内容

[概要](#)

[背景](#)

[IM&Pノードのコンポーネント](#)

[IM&Pパブリッシャ](#)

[IM&Pサブスクライバ](#)

[不足しているコンポーネント](#)

[欠落しているコンポーネントのコマンドのリスト](#)

[Cisco Bug ID CSCuv53092](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Unified Communications Manager(CUCM)IM and Presence(IM&P)に不足しているコンポーネントを追加する方法について説明します。

背景

Disaster Recovery System(DRS)に不足しているコンポーネントがある場合、Unified Communications Manager IM and Presence(IM&P)から不足しているコンポーネントを検出して追加する必要があります。

IM&Pノードのコンポーネント

すべてのIM and Presenceノードのデータバックアップを実行する機能を提供するDRS。予期しない内部サーバエラーが原因で、DRFバックアップが失敗する原因となるコンポーネントの一部がIM and Presenceノードで欠落している場合があります。バックアップタスクを正常に実行するには、IM and Presenceノードに次のコンポーネントが必要です。

IM&Pパブリッシャ

IM_AND_PRESENCEプラットフォーム

IM_AND_PRESENCE CLM

IM_AND_PRESENCEデータベース

IM_AND_PRESENCEプリファレンス

IM_AND_PRESENCE XCP

IM_AND_PRESENCE SYSLOGAGT

IM_AND_PRESENCE CDPAGT

IM_AND_PRESENCE TCT

IM_AND_PRESENCE BAT

IM_AND_PRESENCEカップ
IM_AND_PRESENCE REPORTER

IM&Pサブスクライバ

IM_AND_PRESENCE REPORTER
IM_AND_PRESENCEカップ
IM_AND_PRESENCEプラットフォーム
IM_AND_PRESENCE CLM
IM_AND_PRESENCE XCP
IM_AND_PRESENCE CDPAGT
IM_AND_PRESENCE TCT
IM_AND_PRESENCE SYSLOGAGT

DRSは、すべてのコンポーネントが完了すると、そのコンポーネントをすべて自動的にバックアップします。ただし、IM and Presenceノードに一部のコンポーネントが不足している場合があり、この問題が原因でバックアッププロセスが失敗します。その場合は、DRFログでこのエラーを確認できます。

ログファイルのスニペット。

=====

サーバ : *IMPSub*

機能 : *IM_AND_PRESENCE*

コンポーネント : *DB*

完了時間 : *2020-08-21-09-29-27*

結果コード : 1 - 詳細については、コンポーネントログを確認してください。

結果文字列 : エラー

=====

予備バックアップ

バックアップの準備完了

必要なスペース= 9672860

df -k /tmp/db_drf_backup/ | grep -v ファイルシステム | awk '{print}'

バックアップの準備完了

*pre_db_backup*の終了

*do_db_backup*を開始しています

`/bin/chmod a+w /common/drf/db_drf_backup`を実行するコマンド

`/bin/touch /common/drf/db_drf_backup/drf_ontape_backup.gz`を実行するコマンド

`/bin/chmod 660 /common/drf/db_drf_backup/drf_ontape_backup.gz`を実行するコマンド

`/bin/chown informix`を実行するコマンド : `informix`
`/common/drf/db_drf_backup/drf_ontape_backup.gz`

DBのOntapeバックアップを作成しています...

`/bin/su`を実行するコマンド : `informix -c "ontape -s -L 0 | /bin/gzip >`
`/common/drf/db_drf_backup/drf_ontape_backup.gz" 2>>/common/drf/backup.log`

警告 : ONCONFIG `/usr/local/cm/db/informix/etc/onconfig.ccm`はユーザー`informix (uid=512)`によって所有されていません。

作成された`drf_ontape_backup`のサイズは`[28347431]`です

Ontapeバックアップが完了しました。

各サブでサブバックアップ操作を開始しています。

`/usr/local/cm/bin/invoke_sub_backup.py /common/drf/backup.log /common/drf/status.txt`を実行するコマンド

08/21/20 09:29:11 - status file=`/common/drf/status.txt`

08/21/20 09:29:11 - in subBackup

08/21/20 09:29:11 - pubは`impsub1.example.com`です。

08/21/20 09:29:11 - サブノードリストの取得

08/21/20 09:29:11 - versionCheckOk

08/21/20 09:29:20 - 正常なサブスライバは`['impsub1', 'impsub2']`です。

08/21/20 09:29:20 - 処理ノード`impsub1`

08/21/20 09:29:20 - ノード`impsub1`のサブスライバをバックアップするためのリモートプロセスの呼び出し

08/21/20 09:29:27 - Sub data not found, node `impsub1`

08/21/20 09:29:27 - `do_sub_backup`の後

08/21/20 09:29:27 - `impsub1`サブバックアップが失敗しました

サブバックアップに失敗しました。

EXITING!

----> *BEGIN Standard Output*

----> *END Standard Output*

----> *BEGIN Standard Error*

----> *END Standard Error*

不足しているコンポーネント

IM&Pコンポーネントが完了しているかどうかを確認するには、IM&P CLIを介して両方のノードでthisコマンドを実行します (IM&Pの場合はshowコマンドを使用します)。

- `utils disaster_recovery show_registration nodename`

ここで、nodenameはノードのIPアドレスまたはその名前です。

欠落しているコンポーネントのコマンドのリスト

ノード内に欠落コンポーネントがある場合、CLIを使用してrootアカウントを作成し、欠落コンポーネントごとに特定のコマンドを使用して欠落コンポーネントを手動で追加する必要があります。このリストには、各コンポーネントの特定のパスを持つコマンドが表示されます。各コンポーネントに対応するコマンドを実行する必要があります。右側のノードで見つからないコンポーネントのそれぞれに対応しています。

- 報告者.

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c REPORTER -e /common/drf/scripts/reporter/reporter_error_map.txt -s /common/drf/scripts/reporter/reporter_script.xml -d /common/drf/scripts/reporter/reporter_dependency.xml
```

- カップ。

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c CUP -e /usr/local/sip/drf/epas/bin/epas_error_map.txt -s /usr/local/sip/drf/epas/bin/epas_script.xml -d /usr/local/sip/drf/epas/bin/epas_dependency.xml
```

- BAT。

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c BAT -e /common/drf/scripts/bat/bat_error_map.txt -s /common/drf/scripts/bat/bat_script.xml -d /common/drf/scripts/bat/bat_dependency.xml
```

- PLATFORM.

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c PLATFORM -e /usr/local/platform/script/platform/platform_error_map.txt -s /usr/local/platform/script/platform/platform_script.xml -d /usr/local/platform/script/platform/platform_dependency.xml
```

- CLM

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c CLM -e /usr/local/platform/bin/clm/clm_drf_error_map.txt -s /usr/local/platform/bin/clm/clm_drf_script.xml -d
```

/usr/local/platform/bin/clm/clm_drf_dependency.xml

- XCP

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c XCP -e /usr/local/xcp/drf/cup_xcp_error_map.txt -s /usr/local/xcp/drf/cup_xcp_script.xml -d /usr/local/xcp/drf/cup_xcp_dependency.xml
```

- TCT

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c TCT -e /usr/local/platform/script/tct/tct_error_map.txt -s /usr/local/platform/script/tct/tct_script.xml -d /usr/local/platform/script/tct/tct_dependency.xml
```

- プリファレンス

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c PREFS -e /usr/local/cm/bin/prefsdrf/prefs_error_map.txt -s /usr/local/cm/bin/prefsdrf/prefs_script.xml -d /usr/local/xcp/drf/prefs_dependency.xml
```

- SYSLOGAGT。

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c SYSLOGAGT -e /usr/local/cm/syslogagt/conf/syslogagt_error_map.txt -s /usr/local/cm/syslogagt/conf/syslogagt_script.xml -d /usr/local/cm/syslogagt/conf/syslogagt_dependency.xml
```

- CDPAGT。

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c CDPAGT -e /usr/local/cm/cdpagt/conf/cdpagt_error_map.txt -s /usr/local/cm/cdpagt/conf/cdpagt_script.xml -d /usr/local/cm/cdpagt/conf/cdpagt_dependency.xml
```

- DB。

```
python /usr/local/platform/bin/drfRegisterComponent.py -f IM_AND_PRESENCE -c DB -e /usr/local/cm/bin/database_error_map.txt -s /usr/local/cm/bin/database_script.xml -d /usr/local/cm/bin/database_dependency.xml
```

不足しているものを追加した後、コマンドを再度実行した後に表示する必要があります。

- `utils disaster_recovery show_registration nodename`

タスクが完了したら、IM&Pノードバックアップタスクを開始する必要があります。

Cisco Bug ID [CSCuv53092](#)

一方、予想よりも多くのコンポーネントが追加されると、DRFバックアップタスクも失敗します。この問題は、Cisco Bug ID [CSCuv53092](#)が原因で発生します。この場合、この不具合で説明する回避策で問題が解決されます。

Cisco Bug ID [CSCuv53092](#)を参照してください。

注：シスコの内部ツールおよびバグ情報にアクセスできるのは、登録ユーザのみです。

関連情報

- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。